

環境経済常任委員会記録

令和元年 第3回定例会	
1 日 時	令和元年8月6日（火） 午前 10 時 00 分 開会 午前 10 時 26 分 閉会
2 場 所	特別会議室
3 出席委員	鈴木 毅 委員長 小島 実 副委員長 大貫 毅 委員 谷中 恵子 委員 横尾 武男 委員 船生 哲夫 委員
4 欠席委員	なし
5 委員外出席者	なし
6 説明員	別紙のとおり
7 事務局職員	小杉 課長 小出 書記
8 会議の概要	別紙のとおり

環境経済常任委員会 説明員

副市長		福 田 義 一	1名
経済部	経済部長	杉 江 一 彦	13名
	産業振興課長	福 田 浩 士	
	産業誘致推進室長	鈴 木 淑 弘	
	観光交流課長	竹 澤 英 明	
	農政課長	橋 本 寿 夫	
	林政課長	岸 野 孝 行	
	観光交流課長補佐	神 山 悦 雄	
	林政課長補佐	平 井 光 広	
	堆肥化センター所長	渡 辺 稔 近	
	産業振興課産業振興係長	飯 塚 利 幸	
	観光交流課観光 PR 係長	津 吹 真 章	
	農政課農政係長	徳 原 雅 代	
農政課農産振興係長	池 澤 美 紀 子		
農業委員会事務局	局長	駒 場 久 和	1名
環境部	環境部長	金 子 信 之	13名
	環境課長	高 村 秀 樹	
	廃棄物対策課長	麦 倉 久 典	
	下水道課長	奈 良 勉	
	下水道施設課長	藤 田 敏 明	
	環境課長補佐	松 本 護	
	下水道施設課長補佐	湯 沢 浩	
	環境課環境保全係長	大 貴 広 道	
	廃棄物対策課廃棄物対策係長	柿 沼 玲 司	
	廃棄物対策課施設係長	渡 邊 教 生	
	下水道課管理係長	是 元 和 博	
	下水道課料金係長	早 川 理 恵	
下水道施設課整備係長	橋 本 浩 一		
合 計			28名

環境経済常任委員会 審査事項

- 1 議案第51号 令和元年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）について

令和元年第3回定例会 環境経済常任委員会概要

○鈴木委員長 おはようございます。

定刻になりましたので、常任委員会を開催したいと思います。

開催に先立ちまして、お願いをいたします。

委員の質疑及び執行部の説明、答弁に際しましては、会議を録音しておりますので、ご面倒でもお近くのマイクにより明瞭にお願いいたします。

それでは、ただいまから環境経済常任委員会を開会いたします。

今議会におきましては、本委員会に付託されました案件は議案1件であります。

それでは早速審査を行います。

議案第51号 令和元年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）についてのうち、関係予算を議題といたします。

執行部の説明をお願いいたします。福田産業振興課長。

○福田産業振興課長 おはようございます。産業振興課長の福田です。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、議案第51号 令和元年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）のうち、経済部所管の予算についてご説明をいたします。

まず、補正予算に関する説明書の3ページをお開きください。

まず、歳入についてでありますけれども、中段15款国庫支出金 3項委託金 4目商工費委託金の説明欄、観光イベント事業費委託金539万3,000円の増額につきましては、関係人口創出・拡大事業モデル事業に対する国からの委託金であります。

次に、同じページの最下段になります、16款県支出金 2項県補助金 4目農林水産業費県補助金の説明欄、農業振興費県補助金2,209万9,000円の増額につきましては、高品質なニラ生産に向けたウォーターカーテンハウス整備等に対する首都圏農業確立対策事業費県補助金といたしまして1,600万円、さらに次のページをお開きください。一番上の段になります、担い手の経営強化に対し、必要な機械等の導入及び農業用ハウスの強靱化に対する農作物活性化推進事業費県補助金といたしまして575万円、さらに、牧草の放射性物質吸収抑制対策に対する前日光牧場維持管理費県補助金といたしまして34万9,000円を計上したものであります。

次に、中段21款諸収入 4項雑入 3目雑入の説明欄、農地関係振興事業費返還金23万7,000円につきましては、多面的機能支払交付金事業の活動終了に伴う、交付金の残金の返還を受けるものであります。

続きまして、歳出のほうについてご説明を申し上げます。

説明書の9ページをお開きください。

6 款農林水産業費 1 項農業費 3 目農業振興費の説明欄にあります、首都圏農業確立対策事業費の 1,600 万円の増額につきましては、先ほど説明いたしました首都圏農業確立対策事業費県補助金を財源として支出いたします、ニラのウォーターカーテンハウス整備等を行うためのものであります。

その下、農産物活性化推進事業費の 575 万円の増額につきましては、同じく農作物活性化推進事業費県補助金を財源として支出いたします、担い手の経営強化のための機械導入及び農業用ハウスの強靱化を行うためのものであります。

その下、5 目畜産振興費の説明欄にあります、前日光牧場維持管理費の 34 万 9,000 円の増額につきましては、同じく前日光牧場維持管理費県補助金を財源として支出いたします、牧草の放射性物質吸収抑制対策を行うためのものであります。

さらにその下、6 目農地費の説明欄にあります、農地関係振興事業費の 17 万 9,000 円の増額につきましては、先ほどご説明いたしました多面的機能支払交付金事業の返還金のうち、国及び県の負担分を返還するためのものであります。

次の段、7 款商工費 1 項商工費 4 目観光宣伝費の説明欄、観光イベント事業費の 539 万 3,000 円の増額につきましては、関係人口創出・拡大事業モデル事業を行うためのものであります。

以上で経済部所管の一般会計補正予算の説明を終わります。

○鈴木委員長 高村環境課長。

○高村環境課長 おはようございます。環境課長の高村です。よろしくお願いいたします。

議案第 51 号 令和元年度鹿沼市一般会計補正予算（第 1 号）のうち、環境部所管のものについて、ご説明いたします。

まず、歳入についてであります、補正予算に関する説明書、5 ページをお開きください。

上から 3 段目 21 款 諸収入 4 項 3 目「雑入」の説明欄、一番下の行、「環境都市推進事業費助成金」248 万 4,000 円の増につきましては、環境省が「一般社団法人低炭素社会創出促進協会」を通じて実施する、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金であります。

次に、歳出についてであります、7 ページをお開きください。

一番下の段、4 款 衛生費 1 項 3 目「環境衛生費」の説明欄、「環境都市推進事業費」248 万 4,000 円の増につきましては、10 ページの上段まで続きますが、歳入でご説明した補助金を活用し、地球温暖化対策の普及啓発に向けた取り組みを行うための経費を計上するものであります。

具体的には、幼児環境教育のための絵本等の制作などの委託費が主なものになります。

次に、債務負担行為についてであります、15 ページをお開きください。

「2 し尿収集費」のし尿収集車借上につきましては、浄化槽汚泥の汲み取りを行っているし尿収集車を、新たに借上げするためのものであります。発注から納車まで概ね 10 カ月

を要するため、本年度中に契約を行い、リース期間は令和2年度から7年間となります。

以上で、令和元年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）のうち、環境部所管のものについての説明を終わります。

○鈴木委員長 執行部の説明は終わりました。

質疑のある方は順次発言を許します。船生委員。

○船生委員 おはようございます。船生です。

説明いただきましたニラ農家に対してのウォーターカーテンの件なのですが、これは農家何戸なのだろう。それとハウスですから、何棟なのか、その辺ちょっとお伺いします。

○橋本農政課長 おはようございます。農政課長の橋本です。

○鈴木委員長 私の指示があってから、発言をしてください。

○橋本農政課長 すみません。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 すみません、大変失礼いたしました。

○鈴木委員長 一応委員なので、委員長なので。

○橋本農政課長 農政課長の橋本です。どうぞよろしくお願いたします。

ただいまの船生委員の質問にお答えをいたします。

ニラのウォーターカーテン整備に参加しておりますニラ農家の戸数ですが、12戸でございます。

また、ハウスの棟数につきましては、91棟となっております。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 ほか。はい、どうぞ。

○船生委員 これは補正ですけれども、何年か前にもウォーターカーテンの補助をしたように記憶しているのですが、これは新たに棟数を増やしたので、ウォーターカーテンの補助をしたという意味でしょうか。

それと今までのウォーターカーテンがある程度旧式になったので、新たに設置するのか、その辺ちょっとお伺いします。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 農政課長の橋本です。

ただいまのご質問にお答えをいたします。

今回の対象ハウスにつきましては、新規で整備するものと、あと既存のハウスの機能拡充というふうなものとなっております。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 船生委員。

○船生委員 そうしますと、ニラ農家自体が、ニラの農家の戸数といいましようか、ニラ農家

が増えているという意味で理解してよろしいのでしょうか。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 ただいまのご質問にお答えをしたいと思います。

ニラ農家の戸数自体は、減少傾向にございます。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 船生委員、よろしいですか。

○船生委員 はい、いいでしょう。

○鈴木委員長 ほか、横尾委員。

○横尾委員 おはようございます。お世話になります。

畜産振興費なのですが、前日光牧場の維持管理費ということで。

(「何ページ」と言う者あり)

○横尾委員 9ページ、前日光牧場の維持管理費の34万9,000円という、主にどんなふうに、何をどんなふうにするのか。説明をお願いします。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 農政課長の橋本です。

ただいまの横尾委員の質問にお答えをいたしたいと思います。

前日光牧場の牧草地なのですが、土壌中の放射性セシウム濃度が高いという状況が続いておりまして、これは冬場に積雪とか、その雪が雪どけで、交換性のカリウムが流亡しているという可能性があるということで、塩化カリを牧草地に散布するための費用であります。

以上で答弁を終わります。

○横尾委員 今現在、放牧をしている以外のところにカリウムを散布する、そういうことではなくて、今放牧をしているところに、まだそういう可能性があるのか、カリウムを静置するという、こういう、そっちのほうなのですか。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 ただいまの横尾委員の質問にお答えしたいと思います。

全ての牧に撒いているわけではございませんで、放牧をする見込みのある牧に限定して散布をしているわけですが、ただその牧数は、11牧に対しまして、カリウムを散布しております。

以上で答弁を終わります。

○横尾委員 現在、今まであったそのセシウムの多かったところを、今現在、どのくらいのカリウムが残っているのかというのは確認はできていますか。

○鈴木委員長 はい、農政課長。

○橋本農政課長 農政課長の橋本です。

現在、土壌中の放射性セシウム濃度は89.9から277.6ベクレルというふうな数値で把握をしております。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 終わりでいいですか。

○横尾委員 下はオーケーだと思うのですよね。それで上が、どこら辺が、200 以上だというのがちょっと、100 を超えなければオーケーなのではないかというような話もあるのですが、そこら辺のところはある程度把握をしながら、場所、全面的にはなくて、集中的にどこか場所的にやって、そこなら絶対に牛は放せますよというのをつくっていかないと、全体的にやろうとすると、あそこの面積は壮大なものですから、ある程度は、半分は観光でいいと思うのですよ。全然お客さんが見えないところの裏のほうの山の向こうのほうに牛がいたって、そんなに意味がないので、上がってきて、あそこを見られるところに草があって、そこに牛がいてというのが一番理想といいますか、それ以上のことは望まないと思うのですね。

それで、今年は頭数がいくらか増えたということで、我々も安心はしているのですけれども、それを維持するには、どうしたらいいのだと、草がなくて、そんなに上げられないよというのであれば、草をもっとはやす肥料をやって、草をどんどんつくる、そんな状況も必要だし、セシウムがどうしても高いということならば、もうちょっといろいろやるべきだし、セシウムが高くて悩んでいる牧場に東電あたりから、そういう、市からのお金ではなくて、東電あたりでもどんどん出させるような、そういう方策もとっていかないと、セシウムは撒かれてしまいましたわ、後の処理は全部市のほうで管理しますということになると、非常に予算もかかりますし、収集が、いつになっても終結しないと思うのですよね。そういうことも、今東電では、漁協なんかにはどんどんまた補助していますからね。一時の多いときよりも3分の1ぐらいですけれども、各河川に100 から150 万円ぐらい補助といいますか、そういう補償はしていますから、そういうことで、これだけセシウムがあるんだよと、俺の牧場にはこれだけあるんだよということを示して、協議をすることも必要なのかなというふうに思います。あそこは本当に今までの5倍も10倍もの広さの中で、牛を飼っていたわけですから、そういう流れをやっぱりつくっていかないとまずいかなというふうに思いますので、34万9,000円ぐらいでは正直言って、何のあれにもならないというふうに私は思います。あそこをやっぱりきちんとやっていくには、本当に500万円でも、1,000万円でもかけて、今きちんとしたものをつくってやっていかないと、あの前日光牧場は昔の状況に戻らないような、そんな気がしているので、そこら辺のところはもうちょっと強く要望して、もっともとお金をかけるべきだなというふうに思います。その点について、もう一度お願いします。

○鈴木委員長 橋本農政課長。

○橋本農政課長 農政課長の橋本です。

ただいまのご指摘に対しまして、答弁したいと思うのですが、まず1点目なのですが、この放射性物質の対策費につきましては、これは国の100%補助できておりますので、市の持

ち出しというのはございません。

その上で、さらにその牧草、伸ばしていくという対策については、これは市の取り組みとして実施していくものを考えますので、前日光の管理組合なんかと相談をしながら、その辺は対策を講じて、考えていきたいと思います。

以上で答弁を終わります。

○横尾委員 わかりました。

○鈴木委員長 ほかに質疑は。谷中委員。

○谷中委員 おはようございます。お願いいたします。

8ページの環境都市推進事業費の地球温暖化の幼児の絵本ということで、前800部ということで説明いただいたと思うのですが、もうちょっと詳しく内容とか、教えていただけますか。

○鈴木委員長 高村環境課長。

○高村環境課長 それでは谷中委員のご質問にお答えしたいと思います。

環境都市推進事業費につきましては、絵本を800部つくるということで、絵本のほかに、あと読み聞かせ用の動画なんかもあわせて作成をして、本の内容としましては、パソコン太郎というキャラクターがありまして、それとベリーちゃんを使った形で、幼児でもわかるような、わかりやすい環境教育の内容にしようということ、中身についてはこれから精査してまいります、できるだけわかりやすい表現でということ、800部つくる予定であります。

これらを市内の保育所、幼稚園、小学校とかに配布して、皆さんに見ていただけるようにということで考えております。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 谷中委員。

○谷中委員 内容はこれからということなので、これって1人1冊というのではなくて、学校に何冊でしたっけ。

○鈴木委員長 高村環境課長。

○高村環境課長 今のところ考えているのは、保育所等だと5冊程度、学校は何部欲しいかと要望をお聞きして、それで配布をしたいと、1人1冊というわけにはなかなかまいらないのですが、できるだけ多くの方に見ていただけるように配布数なんかはご希望を聞きながら進めていきたいと思います。

以上で答弁を終わります。

○鈴木委員長 谷中委員。

○谷中委員 予算があるので、そういうふうに希望の数ということになると思うのですが、やっぱり子供たちに見せるだけだと、子供たちはそこで勉強しても家に帰ってなかなか

そういう話にならないのですね。

結構今は子供たちは家に帰って「電気つけっぱなしだから消そうよ」とか言うけれども、親がつけっぱなしでもいいみたいな感じが、またちょっとね、東日本大震災の後からはそういうものもきちんとやろうねってなっていたのですよね。でも、最近随分そういうところがちょっとなくなってきているかなというのを感じますので、どうせだったらやっぱりこういうものに力を入れるということで、ゆくゆくはやっぱり予算をとって、1軒というか、1軒に1冊あげて、子供、両親とか、家族と一緒に考えようということやっていくと、もっと本当にこういうのの温暖化について考えたり、本当に自分の家の中で無駄なものもなくそうというふうになると思いますので、予算がかかるので、今後そういうことは要望していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○鈴木委員長 ほかに質疑はありませんか。

別段質疑もないようですので、お諮りいたします。

議案第51号中関係予算については、原案どおり可とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○鈴木委員長 ご異議なしと認めます。

したがって、議案第51号中関係予算については、原案どおり可とすることに決しました。

以上で、今議会において、本委員会に付託されました案件の審査は、全て終了いたしました。

ここで今回は任期最後の委員会でございますので、私と副委員長からご挨拶をさせていただきたいと思ひます。

ふつつかながら1年間、大変お世話になりました。

4つの常任委員会があると思ひます。私は本当は建設が一番、建設水道が一番おもしろいのではないかなと、正直思っていました。

しかし、この環境経済が一番楽しかったです。何か染み込むのですよね。何か関係している部分もすごい、多々ありまして、なので楽しくやらせてもらいました。

まだまだ財政分析等、私ちょっと学校も行ったのですけれども、やっぱり半年ぐらい経ってしまうと忘れてしまって、もう1回この財政分析、よく細かく見られるように、また東京のほうに合宿に行ってきます。

また、この場で来れるときがあったら、皆さん、そのときはよろしくお願ひしたいと思います。お世話になりました。

○小島副委員長 執行部の皆さんには1年間、大変お世話になりました。

私たち議員は、4年に1回、選挙という形で市民の審判を受けます。願わくば来季も皆さんとともに市政発展に向けて頑張りたいのでございます。頑張る所存でございますけれども、9月1日の結果を見なければわからないというのが。

(「お願いしとく、お願いすればよかんべ、執行部の人、よろしく」と言う者あり)

○小島副委員長 わからない、わからないわけです。まだまだ暑い日も続きます。どうぞ議員初め、執行部の皆様にはどうぞお体をご自愛くださいませ、市政発展に向けて頑張っていると思います。私たちも頑張る所存でございます。1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

○鈴木委員長 これをもちまして、環境経済常任委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

(閉会 午前10時26分)